

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
3		高等学校 古典探究 古文編 (第一学習社)
必修 ○学校必修 必修選択 自由選択	三浦 伊都子	高等学校 古典探究 漢文編 (第一学習社)
	高橋 幸一	完全マスター古典文法 (第一学習社)
	勝田 不学	漢文必修 (桐原書店)
	永沢 由佳	常用国語便覧 (浜島書店)
		Key&point古文単語330 (いっぴな出版)
		ほか

## ◆学習の目標

- ・言語活動を通じて、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育てる。
- ・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を広くし、自分の思いや考えを深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 語句の意味・用法及び文の構造を理解する。
- (2) 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。
- (3) 古典の作品や文章の種類と、その特徴について理解する。
- (4) 基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法・修辞法を理解し、古文を読解する。
- (5) 基本的な句法・修辞法を理解し、漢文を訓読・解釈する。
- (6) 古典の作品を読み感じたことなどを、意見交換・発表することで、自身の考えを深め、他者と協働して課題の解決に取り組む。

## ◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕・古典を理解するに当たっての基本的な語彙を身に付けている。
- ・助詞・助動詞の意味用法、敬語法、句法などの基本的な文法事項を説明できる。
  - ・文章の意味を文脈の中で形成されることを理解して判断し、正しく理解できる。
  - ・文章の構成をとらえ、文章の主題・大意を正確に読み取ることができる。
  - ・登場人物の心情を正しく読み取ることができる。
- 〔応用〕・標準的事項を踏まえ、大意を掴むための読解力を身に付け、わかりやすく表現できる。

## 〔評価の観点〕

## ○知識・技能

古典の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に対する理解を深めている。

## ○思考・判断・表現

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

## ○主体的に学習に取り組む態度

古典から学んだことを通して現代社会を考察したり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

◆年間予定授業時間

予定時数	105 時間	1 学期（39 時間）	2 学期（42 時間）	3 学期（24 時間）
------	--------	-------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

古文・・・語句の意味を調べ、脚注の語句の意味を利用し、口語（現代語）訳する。  
口語訳のために重要な文法事項を反復学習して暗記する。  
漢文・・・本文を正しく読み、書き下し文を作る。重要な句形や語を反復学習して暗記する。  
作品が成立した時代を確認し、その時代背景を調べ、読解に役立てる。  
いずれも繰り返し音読する。これが言語学習の基本となる。

◆授業計画

各クラスの生徒の実態に合わせ、教材の順序や時数を変更する場合がある。

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	古文 随筆 枕草子	5	・敬語の仕組み（敬意の方向等の文法事項）について確認する。	「古文」 ・文語文法における敬語の仕組みを説明できる。 ・『枕草子』『更級日記』の概要と作者について理解できる。 ・古語の意味や古典文法に基づき、作品を読解することができる。 「漢文」 ・語句・句法の意味、用法に注意し、本文の内容を正しく理解できる。 ・論説の構成・展開のしかたについて説明できる。
	5	古文 物語 伊勢物語	5	・記されている人物とその会話の内容を読み取る。	
		漢文 故事 嬰逆鱗	5	・故事成語を理解する。	
	6	漢文 史話 鶏鳴狗盗	5	・構成や展開、内容を的確に捉え、回想の日記であることを確認する。	
		古文 日記 更級日記 門出	12	・物語への憧れを整理する。	
	7	源氏の五十余巻 漢文 文章 雑説 黔之驢	7	・「源氏の物語」を読むまでの経緯と作者の気持ちを読み取る。 ・比喩にこめられた作者のものの考え方を読み取る。	
2	8	古文 物語 大鏡	12	・歴史物語としての『大鏡』に興味を持ち、登場人物の行動や心情を捉える。	「古文」 ・古語の意味や古典文法、当時の文化的背景に基づいた読解できる。また、和歌について修辭を踏まえた解釈ができる。 ・古語の意味や古典文法に基づき、語り手の、藤原氏に対しての批判的な姿勢を理解できる。 ・『源氏物語』『大鏡』の概要と作者について理解できる。 「漢文」 ・それぞれの登場人物の立場や心情を正しく読解することができる。 ・語句、句法の意味に注意し、本文の内容を正しく理解できる。 ・『史記』の概要と作者について理解できる。
	9	花山院の出家 弓争い		・『源氏物語』の概略を把握し、物語世界がどのような状況であるかを確認する。	
	10	古文 物語 光る君の誕生	12	・各段落の内容を理解し、登場人物の行動と発言を読み取る。	
	11	漢文 史話 史記 鴻門之会	8	・登場人物の行動や心情、作中の和歌について整理する。	
		古文 物語 若紫	6	・作者のものの見方や感じ方、考え方を確認し、話し合う。	
	12	漢文 史話 史記 四面楚歌	4	・『史記』を通じて歴史の面白さを味わいつつ、登場人物の生き方や考え方を通して、人間のあり方について考察する。	
3	1	古文 日記 蜻蛉日記	8	・女性による日記文学の先駆となった『蜻蛉日記』の心情描写を読み取る。	「古文」 ・古語の意味や古典文法、当時の文化的背景に基づいた読解をすることができる。また、和歌について修辭を踏まえた解釈ができる。 ・『蜻蛉日記』の概要と作者について理解できる。 「漢文」 ・諸子百家の活動時期や著作等について理解できる。 ・語句、句法の意味に注意し、本文の内容を正しく理解できる。
	2	漢文 思想 諸子百家	12	・作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。	
	3	古文 説話 宇治拾遺物語 袴垂、保昌に合ふこと	4	・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・性善、性悪説を確認する。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	